

ReSUNOKO WALL ART PROJECT

2025年10月りすのこスクエアに新名所が誕生
「りすのこ壁画アートプロジェクト」
アーティスト決定&ワークショップ開催！

日時：2025年7月8日(火) 14:00～15:00

場所：箕子公民館(福岡市中央区大手門3丁目10-7)

医療・介護・予防医療を軸にウェルビーイング・フロンティアを目指す桜十字グループが、JR九州グループと共同開発した「りすのこスクエア」において、新たなプロジェクトが始動します。その名も「りすのこ壁画アートプロジェクト」。地域とともに新しい街づくりを目指し賑わいの拠点として様々な取り組みを行ってきたりすのこスクエアで、今度はアートを活用した街づくりプロジェクトを行います。

りすのこスクエアにある「すのこ体育館」の駐車場壁面を利用し、福岡在住のアーティストと箕子地区住民が、九州産業大学の補助を受けながら、ひとつのアートを描くという大型プロジェクトで、壁画の完成は10月頃を予定しています。

今回は、その中心となるアーティストが、福岡を拠点に活動する「maruiko」氏に決定したというお知らせです。また、来る7月8日(火)に、maruiko氏と地元住民の方が直接顔を合わせ、箕子地区についての歴史や思い出話をうかがい理解を深めていただくワークショップを合わせて開催いたします。

是非、りすのこ壁画アートプロジェクトの始動から完成までを通して取材いただければ嬉しく思います。

ワークショップ開催&アーティスト紹介

日時 2025年7月8日(火) 14:00～15:00

会場 箕子公民館(福岡市中央区大手門3-10-7)

参加者 アーティスト：maruiko、キュレーター：城野敬志、桜十字、箕子自治連合会、福岡市

maruiko



福岡県出身。2007年よりイラストレーターとして活動スタート。ゆるっとほわっと、時にたのしく、時に切ないイラストを描く。展覧会などで作品を発表するほか、様々な媒体でイラストやデザインを手がけている。現在は山に囲まれた田舎町を拠点に活動中。

<https://www.instagram.com/maruikokama/>

本プロジェクトにお声がけいただいたことがとても嬉しく光栄です。箕子地域の皆さまに歴史や思い出を伺った後に自分の中からどんな作品イメージが湧くのか、皆さんと一緒に描く絵がどんなものになるのか、そしてどんな交流が生まれるのか今からとっても楽しみです！関わった皆さまの宝物になるように、楽しくかつ熱い気持ちを持って取り組みたいと思います。

選定理由

maruiko氏の作品は、明るく温かい色使いと、地元の風景や動物たちをモチーフにした親しみやすい絵柄が特徴で、豊かな自然や、そこで暮らす人々の穏やかな日常が、優しくユーモラスなタッチで表現されています。そういったmaruiko氏の作風が、箕子地区やりすのこスクエアの理念にも合致すると判断し今回選定となりました。

りすのご壁画アートプロジェクトについて

りすのこスクエアは、福岡市の旧箕子小学校跡地活用事業から生まれたプロジェクトで「地域を支える場所、再び。-Re すのこ-」というコンセプトのもと、地域の賑わいや安全安心の拠点として、桜十字グループが行政や地域と共創しながら進めてきました。誰もが箕子地区を誇りに思い、未永く愛着をもっていただける場所にすべく、今回はアートを活用した新しいプロジェクト「りすのこ壁画アートプロジェクト」を始動します！

どんなデザインにしていくのかは、アーティストと地元住民とで話し合いながら決定し、九産大学生のボランティアの手を借りながらmaruiko氏が描き上げます。最後は地元住民が色を足したり筆入れする等して10月頃に完成させる予定です。

1912年から続く箕子小学校の場所で、箕子地区の住民のみなさまと共に、今後も愛され続ける場へとすべく、みなで協力してひとつのアートを完成させます。箕子地区の歴史と未来を詰め込んだ壁画アートになる予定です。

アーティスト maruiko

キュレーター 城野敬志(アートディレクター)

主催 株式会社桜十字

企画協力 国本泰英(九州産業大学講師/アーティスト)

協力 箕子自治連合会、JR九州グループ
九州産業大学学生ボランティア

後援 福岡市



すのこ体育館の駐車場壁面(約2.8m×5m)を利用

壁画アート完成までのスケジュール ※スケジュールは変わる場合がございます。

- 7月上旬 地元住民とのワークショップ(今回のお知らせ分)**
アーティストmaruiko氏と地元住民との初顔合わせ、地元住民から話を聞くなど交流予定
- 8月中旬 原画決定**
ワークショップを経て得たイメージーションを元に原画案作成、地元住民らでどの案にするか決定
- 9月 壁画本制作**
足場を組んで学生らと共に壁画に描く様子や地元住民らが見学する様子などが撮影できる予定
- 10月中旬 地元住民と一緒に仕上げ・完成・お披露目会**
最後の仕上げとして地元住民や幼稚園児などを招いて色付け・筆入れをいただく予定

「人生100年時代の生きるを満たす」

2005年、桜十字グループは、熊本県の民間病院の中で最大の病床数を有する「桜十字病院」から始まりました。今では病院のみにとどまらず、医療・介護・予防医療のヘルスケア領域において、社会に必要な様々な事業やサービスを全国に展開しています。「人」は幼少期から成人期、そして老年期にいたるまで、生きることがひとつの「Life Story」として繋がっています。人生100年時代を迎える今、これまで高齢者医療に向き合ってきた私たちにできることは何か。それは、病気やケガを治す身体的なケアだけでなく、精神的・社会的に「生きるを満たす」新たな概念による事業やサービスを提供していくことです。そうして、すべての世代における人生の楽しみや、生きる喜びを支えると共に、その基盤たる社会づくりに貢献いたします。私たち桜十字グループは、時代の変化に対し、進化し続けることで、「カラダの健康」に加え、「ココロのしあわせ」「ひと・マチ・社会のあり方」これら3つを基軸に、QOL(生活の質)の豊かな未来を切り拓く「ウェルビーイング・フロンティア」を目指しています。

会社概要

桜十字グループ(創業:2005年7月)

本社 〒106-0041 東京都港区麻布台1丁目3-1 麻布台ヒルズ森JPタワー27階
熊本本部 〒861-4173 熊本市南区御幸木部1-1-1
福岡本部 〒810-0004 福岡市中央区渡辺通3-5-11
大阪本部 〒530-0011 大阪市北区大深町3-1 グランフロント大阪ナレッジキャピタル6階

この件に関するお問合せ・取材のご依頼は
右記までお願いいたします。

桜十字グループ 福岡本部 広報:松本
TEL 092-791-1100 m.matsumoto@sakurajyuji.jp